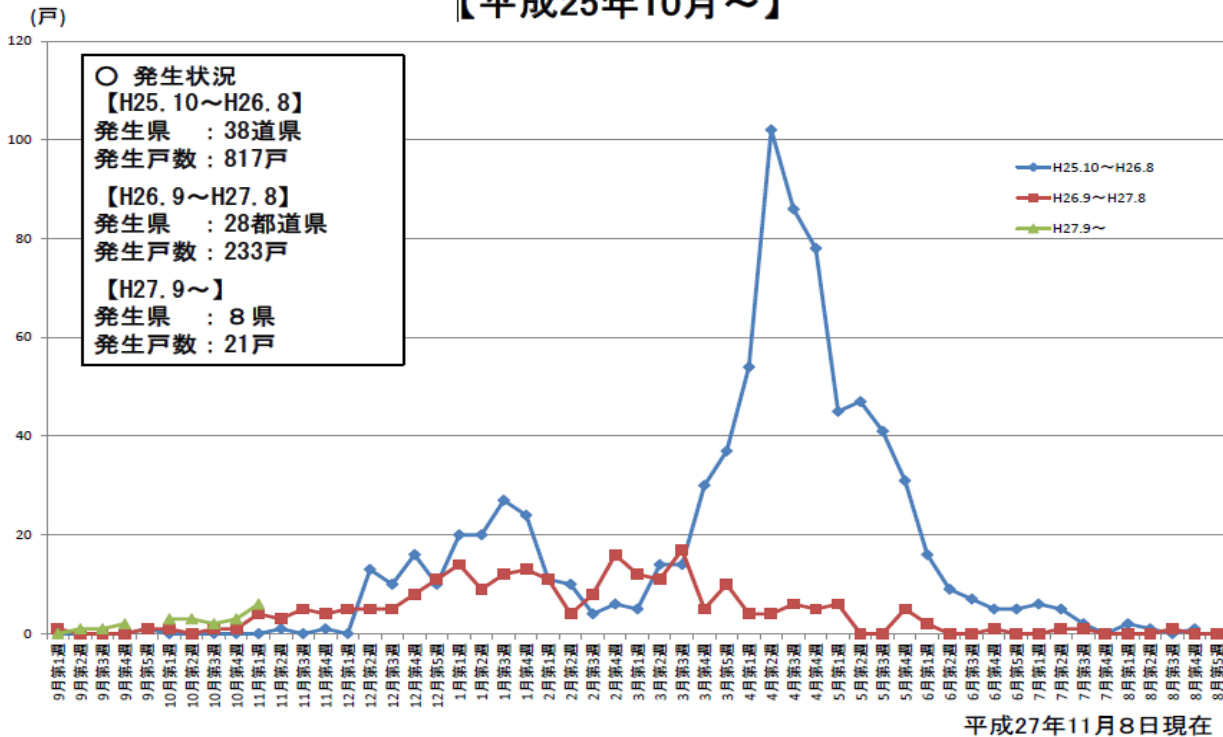


## 豚流行性下痢(PED)の好発シーズン前に、飼養衛生管理基準の再確認を！

○PEDの発生は冬季に増加します。

豚流行性下痢の発生件数の推移(週毎)  
【平成25年10月～】



○岐阜県においては、PEDは平成26年5月(5例目)以降の発生はありませんが、今シーズンも国内では、PEDが発生しております。

近隣県、特に愛知県においてはPED発生(10例目)が続いています。

PEDの発生状況 平成27年9月以降の発生について

発生都道県	初発事例確認日	発生件数	発症頭数	死亡頭数	頭数の最終確認日
茨城県	平成27年10月1日	2	1,810	0	平成27年11月4日
千葉県	平成27年10月15日	1	36	31	平成27年10月30日
群馬県	平成27年11月2日	1	100	19	平成27年11月4日
愛知県	平成27年9月14日	10	636	20	平成27年11月5日
三重県	平成27年10月5日	1	119	9	平成27年10月29日
熊本県	平成27年11月4日	2	1,028	215	平成27年11月6日
宮崎県	平成27年9月26日	2	162	0	平成27年11月4日
鹿児島県	平成27年10月21日	2	1,738	134	平成27年11月4日
合計	8県	21	5,629	428	

# PEDの発生防止対策を再徹底しましょう！

侵入、伝播、拡大防止のため、以下の事項に特に注意してください。

## ◎ 飼養衛生管理基準の遵守の徹底

- 日頃の豚の健康状態の観察
- 導入豚の隔離(2～4週間)の徹底
- 部外者立入り制限など豚、人、車両、作業器具の出入りを管理
- 作業員や運搬車両(タイヤ周りだけでなく、荷台、運転席マット等車両全体)の確実な洗浄消毒
- 可能であれば、分娩舎と他の畜舎との衛生管理を分ける
- 消毒は有機物を除去してから、逆性石けん系、アルデヒド系等を適正濃度、頻度で行う

## ◎ ワクチンの適正使用

- ワクチン効果を十分に引き出すために、排泄物のこまめな処理、豚舎の消毒等を徹底しましょう。
- 今回の流行株に有効性が示されており、全国のワクチン接種率は7割程度と推定されています。また、少頭数用の製品の供給が再開されるとのことです。

**☆健康観察を徹底し、通常と異なる下痢、嘔吐、食欲不振、死亡等の症状を確認した場合は、速やかに家畜保健衛生所へ連絡をお願いします。**